

## 「とっとり市民健康プラン2026（案）」に対する市民政策コメントの結果について

1 募集期間 令和7年12月15日から令和8年1月9日まで

2 募集結果 9名（18項目）

貴重なご意見をお寄せいただきありがとうございました。

番号	ご意見の内容	市の考え方
1	<p>健康づくりを語る会に参加する機会をいただき、とっとり市民健康プランをはじめ知りました。そもそも鳥取市がとっとり市民健康プランで健康づくりを推進しているということを知っている市民が少ないように思います。鳥取市民みなさんが知ってはじめて具体的な課題に取り組めるものであり関わっている方やその周りの方たち、私のようにたまたま機会があった人だけが知っていくのではなくまずは広報に力を入れ、それから健康に繋がる課題に取り組んでいけたらさらなる改善向上が見込めるのではないかなと思います。</p> <p>また実現可能な活動が限られているなか、このような機会をきっかけに各団体と市とが繋がり共有協力がもっとできれば色々なかたちでできることも増えるだろうと思います。</p> <p>鳥取市民への周知、各活動機関団体の情報共有と協力体制が第一の課題ではないでしょうか。</p>	<p>健康づくりを語る会にご参加いただきありがとうございました。委員の皆様にご協力いただきまとめたこのプランについて、多くの市民の皆さまに知っていただけるよう周知に努めてまいります。また、地域、学校、関係機関・団体等と一層の情報共有を図り、連携協力しながら取組を進めてまいります。</p>
2	<p>第1章 第1節 計画基本方針について</p> <p>基本理念「その人らしく」がとてもよいフレーズですね。誰もが他人と比べてしまう世の中です。何歳になっても年齢を気にしないで健康でいられる努力をすることは、とても大切なことだと思います。</p>	<p>市民の皆さまに生涯を通じて自分らしく健康で豊かな人生を送ることができるよう自分にあった方法で主体的に健康づくりに取り組んでいただき、その取組を社会全体で支え、健康寿命の延伸と誰も自死に追い込まれることのない社会の実現を目指すため基本理念を設けています。</p>
3	<p>第2節 休養・こころの健康について</p> <p>子どもが夜遅くまで起きている現状におどろきです。現代は、携帯、SNS、YouTubeなどで時間を過ごすことも多いことも原因のひとつと考えられます。</p>	<p>睡眠にはこころとからだを休ませるために大切な働きがあり、質・量ともに十分な睡眠をとることが重要です。睡眠の重要性や規則正しい生活習慣について、知識の普及啓発を行ってまいります。</p>
4	<p>3. 地域で健康づくりをするための取り組みについて</p> <p>なかなか公共の場以外でお互い困った時に助け合うことが難しくなっている現状に、なんとか当施設が活用できればと思います。公民館、保育園、小、中と近くにあり連携が取れるといいと思います。</p>	<p>市民主体の健康づくりを推進するためには、地域の中で取組を進めていくことが重要です。地域資源を有効に活用し、地域の公民館や学校、関係団体等と連携させていただきながら健康づくりを推進してまいります。</p>
5	<p>第3章 食育の推進について</p> <p>中食・・・コンビニやお店のそうざいをうまく活用して、バランスの良い食事がとれることも大切です。災害時での食の備え、料理法なども当施設を活用していただければと思います。</p>	<p>今後の取り組みの参考にさせていただきます。</p>
6	<p>30, 41, 45ページの受動喫煙防止、COPDに絞っての意見提案ですが</p> <p>喫煙者を減らしていくために、禁煙支援にもご尽力され、喫煙者の禁煙相談やサポートに取組み、また薬局が禁煙相談に対応するよう連携されているようですが、禁煙治療費の1/2～2/3の助成制度を設けてはどうでしょうか？</p>	<p>現時点では、本市独自の禁煙治療費への助成制度を設ける予定はありません。喫煙をやめたい人に医療機関や禁煙支援薬局を紹介するなど禁煙に関する相談支援を行うとともに、地域・企業・関係機関等と連携し、受動喫煙の防止に関する意識の啓発や人が集まる場所の禁煙・分煙を促進してまいります。</p>
7	<p>世界禁煙デーの催しもされているようですが、米子コンベンションセンターのようなイエローグリーンライトアップにも、貴市も参加連携されてはどうでしょうか？</p>	<p>今後の取り組みの参考にさせていただきます。</p>

番号	ご意見の内容	市の考え方
8	<p>タバコ病とされるCOPDにも取り組んでおいでのようですが、11月第三週水曜が世界COPDデーなので、スケジュールに入れていただいてはどうでしょうか。</p>	<p>本市では、11月第3水曜日の世界COPDデーにあわせ、健康相談、肺年齢測定、パネル展示などを実施しています。引き続き、11月第3水曜日の世界COPDデーをはじめ様々な機会をとらえ、関係機関・団体等と連携しながらCOPDに関する正しい知識の普及啓発を行ってまいります。</p>
9	<p>「小学生の前で家族が喫煙する家庭の割合」は減少傾向にあるものの、約2割の家庭が小学生の前で喫煙していることが分かります。(図5) 家庭内の喫煙場所については、「室内で喫煙する」と回答している人が約6割で増加しています。(図6) と31ページにあり、目標値として「15%以下、40%以下」と記載されていますが(45ページにも)、これは未成年者の喫煙ゼロ、妊婦の喫煙ゼロ目標と同じく、0(ゼロ)と明記されるべきです。現状の追認的な記載は不可です、論外です。子どもたちの受動喫煙の危害防止を優先的に強く進めていただきたいです。</p> <p>※「未成年や妊娠中・授乳期中の喫煙をなくす、公共施設や事業所等における禁煙の推進、家庭内や車内など私的空間における受動喫煙の防止」など、啓発も大事ではあるものの、制度化やルール化が必須なので、貴市、また県レベルでも、以下の実効化推進を是非によりしく願います。</p> <p><b>【兵庫県受動喫煙防止条例】</b></p> <p>第19条 何人も、20歳未満の者及び妊婦と同室する住宅の居室内、これらの者と同乗する自動車の車内その他これらの者に受動喫煙を生じさせる場所として規則で定める場所においては、喫煙をしてはならない。</p> <p>第10条 喫煙区域を設ける場合において、当該喫煙区域に20歳未満の者及び妊婦を立ち入らせてはならない。</p> <p>・入口に表示義務：喫煙区域への20歳未満の者及び妊婦の立入りが禁止されている旨の掲示の義務付け</p>	<p>本プランの目標値については、計画期間における取組の成果を確認していくための評価指標として、現状値に応じて設定しています。「妊産婦の喫煙者の割合」の現状値は、妊婦：1.6%、産婦：2.7%であるのに対し、「小学生の前で家族が喫煙する家庭の割合」の現状値は20.2%、「家庭内での喫煙場所は室内の割合」の現状値は56.9%であることから、それぞれ目標値(評価指標)を15%以下、40%以下としているものです。望まない受動喫煙の防止は重要な課題のひとつと認識しており、課題解決に向けた取組を推進してまいります。</p>
10	<p>すでに健康に関心がある人だけでなく、無自覚・無関心な市民にも届くような施策が大切だと思います。</p> <p>・初参加(イベントや調査などに)の比率を調べる</p> <p>・窓口や広報・行政メールなどで無関心な人も目にする機会を増やす(目に留まりやすい工夫をする)など</p>	<p>健康寿命の延伸には、自ら健康づくりに積極的に取組む人だけでなく、健康に関心の薄い人を含む幅広い層に対してアプローチすることが重要です。ご提案いただいた内容について、今後の取り組みの参考にさせていただきます。</p>
11	<p>データが分かりやすくまとめられていて、参考になりました。</p> <p>多くの市民がこのプランの存在を認識できるように、目にする機会が増えるように工夫していただけたらと思います。</p>	<p>本市のここからただの健康づくりの総合となる指針として本プランを策定しています。このプランを多くの市民の皆さまに見ていただき、今後の健康づくりに役立てていただきたいと思っています。地域、学校、関係機関・団体等と連携し、このプランを広く知っていただけるよう周知に努めてまいります。</p>
12	<p>多くの政策があり、熱心に取り組んでいただいてありがとうございます。</p> <p>生涯を通じて考えられる食育(誰もが自分で考えて、自分で調理出来る)に繋がると良いなと思いました。</p>	<p>生涯を通じた食体験、食育体験を通じて、栄養や健康増進に加え、食に関する基礎知識を身に付けたり、自然の恵みへの感謝や伝統的な食文化などへの理解を深めたりすることができるよう取り組んでまいります。</p>
13	<p>また、口腔について、以前は歯医者に行くのは虫歯ができた時だと思っていましたが、今は定期検診として予約しています。「定期検診、口腔チェックに行っていんだ!」という風潮になればいいと思いました。</p>	<p>地域や学校での健康教育、健康相談を通じて、定期的な歯科検診受診につながるよう働きかけを行うとともに、受診しやすい環境づくりに取り組んでまいります。</p>

番号	ご意見の内容	市の考え方
14	<p>●子供のこころと健康について</p> <p>就寝時間が夜10時以降になる割合が、3歳児で約3割、小学生だと約6割だと拝見しました。様々な要因から子供の就寝時間が遅くなると思いますが、一因には「ネット動画やテレビ等の影響」があるように感じます。自分でコントロールが難しい子供に対してどのように環境を整えるべきか、どう対処するのがよいかを早期から親に対して情報を発信してもらえたらいいなと思います。</p>	<p>学校での健康教育などを通じて、休養や睡眠の重要性や規則正しい生活習慣について、知識の普及啓発を行ってまいります。</p>
15	<p>健康づくりの目標</p> <p>第4期計画では、「特定健診を受けて、生活習慣病を予防しましょう」でしたが、第5期計画では、「生活習慣病を予防しましょう」となっています。健診受診率目標60%に対し現状35.7%達成度Cなのに「特定健診を受けて」を残さないのでしょうか？</p>	<p>生活習慣病を予防するためには、40歳からの特定健診を受診することから始まるのではなく、子どもの頃から取組が必要と考えているため、健康づくりの目標から「特定健診を受けて」の部分を削除したものです。なお、具体的な取組については、①特定検診受診の呼びかけと健診を受けやすい体制の整備、②生涯を通じた生活習慣病に対する正しい知識の普及・啓発とし、評価指標は、「特定検診受診率」の目標値を設定し、取組を推進することとしています。</p>
16	<p>運動のできる体制・環境づくり</p> <p>やってみよう！でー(day)等を活用するなどして運動イベント等を開催します。とありますが、こどもを対象としたイベントということでしょうか？もっと地域全体にやってみよう！でー(day)について知ってもらわないと親は仕事で、こどももイベントに参加できないのではないのでしょうか？</p>	<p>こどもだけでなく、保護者や地域の方々等を対象とする運動イベント等の開催を想定しています。</p> <p>「やってみよう！でー(day)」については、働く保護者の有給休暇の取得促進に向けた要請を商工団体に行ったり、事業者の皆様へのチラシの配布を行ったりするとともに、とっとり市報や鳥取市公式ウェブサイト等でも周知しているところです。</p> <p>引き続き、地域全体で「やってみよう！でー(day)」の取組へのご理解・ご協力をいただけるよう、機会を捉えて働きかけを行ってまいります。</p>
17	<p>「(4) 死亡 ②死因」について・・・7頁</p> <p>グラフについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明文章は、「悪性新生物(がん)」とありますが、グラフ内の分類名が「がん」のみとなっている。</li> <li>・三大死因とグラフ順が異なる。(間に「老衰」)</li> </ul> <p>グラフ内の順番が割合順となっていない。何順か不明です。資料が「鳥取県人口動態統計調査」とあり、変更できないかもしれませんが・・・。</p>	<p>ご指摘のとおり、以下のとおり本文及びグラフの内容を修正します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフの「がん」の表記を「悪性新生物(がん)」に修正。</li> <li>・グラフを割合順に修正し、本文の「三大死因」の表記を削除。</li> </ul>
18	<p>「③悪性新生物(がん)の部位別死亡数」について・・・8頁</p> <p>文章中に、「大腸」とありますが、グラフの「結腸」+「直腸・S状結腸」=「大腸」でしょうか。文章の記載またはグラフ内のラベルに工夫が必要かと思います。</p>	<p>ご指摘のとおり、本文中の「大腸」はグラフの「結腸」及び「直腸・S状結腸」を合わせたものを表しています。本文の記載内容に合わせグラフを修正します。</p>